

エクストリーム-D 株式会社

概要

エクストリーム-Dは2015年1月に設立。ベンチャーキャピタルから出資を受ける日本発のスタートアップ企業です。ユーザーがハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）のクラウドサービスを容易かつ瞬時に、そして効率的・経済的に利用できることを目標に設立されました。HPCおよびクラウド技術において25年以上の経験を持つメンバーで構成され、ユーザーが簡単かつコスト効率良くスーパーコンピューターを使えることを可能とする業界標準のプラットフォーム構築を目指しています。

2016年11月、パブリッククラウドを活用した自動スーパーコンピューティングオンデマンドサービスであるXTREME-DNAの提供を開始しました。わかりやすいユーザーインターフェースおよびクラウド管理機能により、使いやすいカスタマーエクスペリエンスを実現しました。現在は、お客様およびパートナー企業との協業により、独自の「Supercomputing as a Service」プラットフォーム、AXXE-L by XTREME-Dの提供を開始しています。

同社の主要メンバーは、スーパーコンピューティング、クラウドサービス、クラウド管理において長年の経験を持つアーキテクトで構成されています。主要メンバーを中心に、HPCおよびクラウドアプリケーション開発、プロフェッショナルサービス、コンサルティングに重点を置き、日タイノベーションを追求しています。

エクストリーム-Dは当初の目標を達成しただけでなく、デジタル・リアルティ社との提携やPlatformDIGITAL®（顧客が重要インフラを管理し、デジタルエコシステムに相互接続可能となるグローバルデータセンタープラットフォーム）の活用により、さらなる成長を見込んでいます。スーパーコンピューターへの迅速なアクセスを常時可能にするオールインワンのソリューションの開発を目標に、これからも研究開発に邁進していきます。

「弊社はデジタル・リアルティ社のコロケーションサービス（中小規模の企業向けのラック単位契約プラン）の利用を開始しました。このソリューションを利用することで、非常に優れた強固なセキュリティを誇るデータセンターの利点が、弊社サービスにも活かされています」

エクストリーム-D 株式会社 創業者/CEO 柴田 直樹

ハイブリッドソリューションに最適

エクストリーム-Dの潜在顧客の多くが、パブリッククラウドとプライベートクラウドをハイブリッドで使用しています。

PlatformDIGITAL®により、エクストリーム-Dのソフトウェア定義ネットワーク（SDN）と主要パブリッククラウドが接続されたハイブリッドクラウドソリューションの提供が可能となります。エクストリーム-D社の顧客の中には、すでに膨大なデータを主要パブリッククラウドに保存しており、PlatformDIGITAL®によりデータグラビティの障壁を取り払い、更なるデジタルビジネス拡大を実現するデータエクスチェンジハブを構成することができます。

データグラビティの詳細については、こちらをご覧ください。

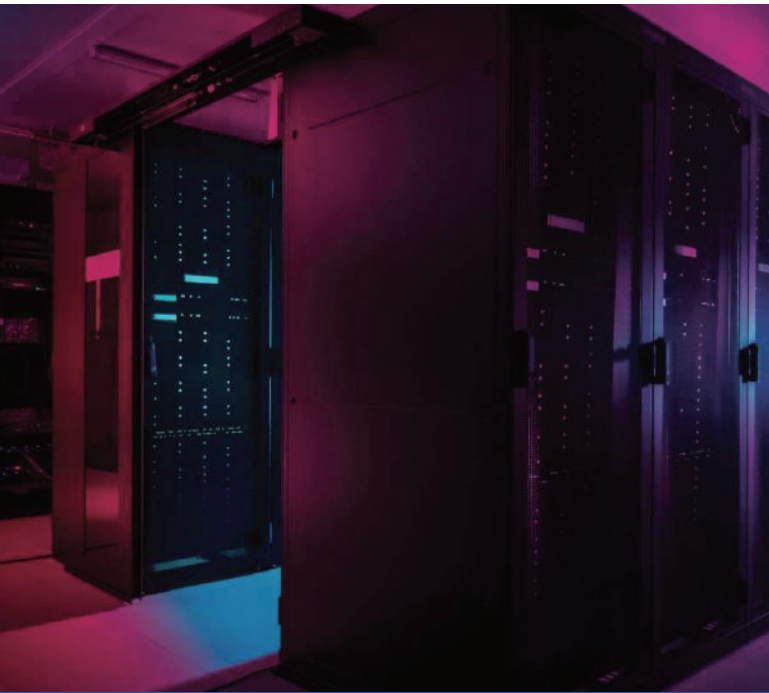
また、デジタル・リアルティ社のデータセンターによって提供されるグローバルネットワークを活用することにより、世界各国で、同一レベルの標準化されたセキュリティ、障害復旧能力を備えたシームレスな開発環境が利用可能になります。

成長に向けて

エクストリーム-Dは2020年末までに顧客数を50ユーザーにまで拡大することを目標としておりましたが、同社のIaaSサービスのキャパシティは20ユーザー未満に制限されていました。デジタル・リアルティ社によって、数多くいる顧客に合わせて柔軟にキャパシティの増加が可能となり、現在、エクストリーム-Dはすでに、同社の顧客に対して、日本国内に1ペタバイト超のストレージを含む100台超のサーバを提供可能なキャパシティを有しています。デジタル・リアルティ社によって、スーパーコンピューターのインフラ構築最適化に向けて、ローカルでデータを集約し、データ生成のボリューム、可変性、速度をサポートするパフォーマンスを向上させる環境が提供されます。

デジタル・リアルティのグローバルデータセンタープラットフォームは、エクストリーム-Dにとって、様々な形でのデータセンター利用（ラック密度の異なる1ラックから数MWまで）をサポートし、顧客、ネットワーク、クラウド、そしてコンプライアンスに関するデータが密接に連携する重要インフラを安全に運用できる点がセールスポイントとなっています。





エクストリーム-D 株式会社 企業情報

目標

- ・ハイブリッドソリューションの提供
- ・お客様のニーズに合わせた拡張が可能なプラットフォームへのアクセス
- ・さらなる成長に向けた基盤整備

主な成果

- ・ソース：エクストリーム-D 株式会社
- ・ハイブリッドクラウドソリューションを促進する PlatformDIGITAL® の利用
- ・データエクスチェンジのハブでグローバルに分散したワークフローを処理することで、データグラフィティという障壁を取り払い、より多くの顧客を獲得し、ビジネスを拡大
- ・技術とマーケティング、両方の観点のニーズを満たすインフラの開発と管理を実現

「弊社は大企業のお客様向けサービスで、デジタル・リアルティ社のソリューションを利用しています。今後は弊社の他のサービスでもデジタル・リアルティ社の高品質なデータセンターを使用することになるでしょう」

エクストリーム-D 株式会社 創業者/CEO 柴田直樹

将来に向けた提携

創業まもないスタートアップ企業であるエクストリーム-D は、技術とマーケティングの両面でデジタル・リアルティ社との提携を活用しております。

技術面では、同社は PlatformDIGITAL® の利用を開始し、AI、ディープラーニング、データ分析市場で活用される HPC 技術の自社サービス開発に向けて、準備を進めています。

マーケティング面では、日本における MC デジタル・リアルティ社との強固なパートナーシップにより、主要な製造業を含む日本の顧客との強固な信頼関係を築いています。

エクストリーム-D は米国でも事業を開始しており、デジタル・リアルティ社のデータセンターを利用することを決定しました。同社は次のように述べています。「PlatformDIGITAL® を使用することで、日本と同じ IaaS 技術を容易に米国のデータセンターにも構築することができます。また、米国に子会社を持つ日本のお客様には、同じデータセンター内で安全に HPC を接続するかのよう日本と米国を繋ぐサービスを提案することができます。」

Digital Realty について

デジタル・リアルティ社は、北米、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア各地の安全かつネットワーク接続性の高いデータセンターによって、2,300 社を超える企業のデータセンター、コロケーション、相互接続の戦略をサポートしております。

デジタル・リアルティ社の顧客は、あらゆる規模の国内外の企業に亘り、クラウドおよび情報サービス、通信、SNS から金融機関、製造業、エネルギー、ヘルスケア、消費材産業にまで及びます。

44 都市に 275 か所のデータセンターを有するデジタル・リアルティ社は、複数拠点でお客様に同一品質の環境を提供することができます。

日本国内においては、三菱商事株式会社との合併会社である MC デジタル・リアルティがデータセンターサービスを提供しております。

Digital Realty の詳細については、digitalrealty.com にアクセスするか、LinkedIn や Twitter をフォローしてください。

お問い合わせ

MC デジタル・リアルティ株式会社 | MC Digital Realty, inc.

Email : marketing@mc-digitalrealty.com

TEL : 03-3519-3500